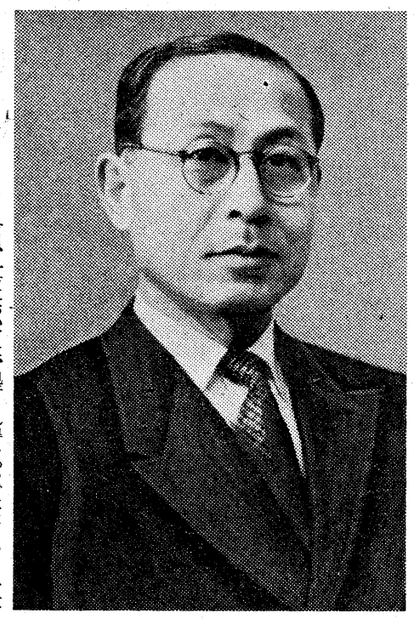
24代目学長に中谷教授

再び学長に就任して

法学博士　中谷敬寿



九月二十四日、森川太郎前学長（二十三代目・経済学博士）が、かねてより病身の理由で固く辞意を表明されていたことによって、教授会は次期学長の選挙を行なった。

選挙の結果、次期学長には中谷敬寿（なかたに・よしとし、法学部教授・法学博士）氏が選出された。新学長は、第二十二代目学長を務めており、「教学五原則」をもって、その教学上の大計とされていたので、第二十四代目学長としても、さらに充実した方針で学長の任にあたられることが予想され、各方面で期待されている。

中谷新学長は、十月一日付をもってすでに就任されており、以下のような手記を本紙によせられ、そこで抱負を語っている。

なお、二十四代目というのは、関西法律学校が開設した時の初代校長から数えていう。

今日、一方においては、現行新制大学の行り方そのものにつき検討の要があるとしているいろの論議が重なられており、また他の一面においては、全体からすれば極めて一部少数の学生の動きではあるが、時に昨今の大学生の行動について厳しい世論の批判がないわけではない。

しかし、わが関西大学にあっては、他大学と同様大学一般に通ずる・制度上定められた大学の任務・使命があるばかりでなくなお本大学の建学精神と歴史と伝統の裡に培われて確立している独自の教学方針なるものが、厳然として存在している。

そこで私は、制度上一応確立されている大学一般の任務・使命に省み、また本大学独自の教学方針に基づいて、できるだけこれを具体的に開発し、時代の進展と社会の要請を勘案しつつ、平たくいえば本学の清潔にして、明るく、楽しい学園造りに力を傾け、関西大学の発展に努めて行きたい覚悟である。

そうはいっても右のような学園造りは、決して特定の一人の努力やまた特定少数の管理者の努力では、到底よくこれを実現し得るものではなくあくまで教授・学生・理事者の三者が全責心を一にし力を協せて、いわば三位一体となり、さらに校友および父兄といったいわば右の五者が、学園を中核として各々分を守りその責めを尽くすという根本基調に立ち、特に教育愛と師弟愛を紐帯とする、本来一大共同社会（ゲマインシャフト）たるべきわが関西大学を一段と調和あらしめ、益々清潔にして、明るく、楽しい学園造りに精進し、今後は関西大学の外形的発展よりも、むしろより多く、否主としてその内面的実質的発展に努力し、かくして真に国家社会に有為な識実な多くの人材を世に送り出し、この国における明るい将来社会の建設に寄与したいものと、心秘そかに念願している次第である。それにしても右のような学園造りを全うし関西大学をよりよく発展せしめるためには、どうしても年来母校愛に燃えて日頃直接間接学園に対し支援を惜しまない、十方に余る校友諸賢の叱正、鞭撻、後援がなくては叶わないところである。

論壇

中谷学長を迎えて

まろやかな印象である。そして温顔に時々光る眼鏡の輝きは、高い知性をひらめかす。中谷敬寿（よしとし）博士は、内剛外柔かも知れない。過ぐる年左藤大阪府知事と、当時学長だった中谷博士が、本紙の対談会で交わされた言葉……大阪を育てて貰った関大です、の左藤知事の言に「いや関大を育てて下さった大阪です」と中谷学長は人懐かしく微笑した。

森川博士のあとを受けて、二度目の学長の席についた途端、東京の羽田空港で全学連の「暴力」が行なわれ、その是非曲直はとにかく、一人の学生が死亡した。暴走する学生に、一般の目は鋭く注がれて、学園とは？の疑問と批判が強くなった。

関大とてそのうち外ではない。学生運動も次第にその勢力を増し、その方向にひずみを持つことも考えられる。この時中谷博士が学長の席についた。時の流れを阻止することは難かしいが、問題は、一部学生の思想と行動に、随伴する無批判、盲従の大衆と、感情にのみ駆られて「空走」する学生に問題がある。中谷博士は、その点において冷静であり、強い説得力を持っている。正に時を得て出現した学長との感が深い。昭和三年以来本学の教壇に立ち、四十年近いその経歴は関大マンそのものである。戦争を経験し敗戦後の整理を行ない、学長経歴も持っている。特に法学部教授として、その道に打ちこんだ学究中谷博士は、法学校をもって誕生した関大の性格を十二分に理解し、今後も発展させる力を持っている。法、文、経、商、社、工の六学部の大学の長として、博士の常にとなえる「学の実化」は博士の頭から諸種の形で顕現されよう。経済政治研究所につぐ法律学の専門研究所も、当然、学の実化の一環として生まれようし、工学部関係の一連の組織も、中谷学長によって当然生まれよう。

由来大学では、理事会、教授、事務職員、学生の連帯感が薄れて、各パートは、外部からの刺激が強く働いて学生は動揺し、革命は学生からと気負い立つ。内部では、マスプロ教育に学生は何も大学へ来なくともよかったとの無力感を持つ。教授は、受持ちの講座だけをマイクで論じてこと足れりとする。理事者は、財政不安を訴えて狂奔する。バラバラの姿が大学という城を作っている。これに対して中谷新学長は、どう処して行くか。

産学協同をとなえ、学の実化を念願する新学長の抱負は、大きくゆくらんでいようが、要は、学生に大学への不信感を持たせぬことと、魅力ある大学作りにある。既に学長経験を持つ中谷博士に、校友はあらゆる面で期待している。学生運動が暴走する風の中で、学長の冷徹した行動と、信念に基づく説得力、悠久八十余年の歴史を持つ関大が、中谷学長によってさらに発展することを期待し、その成果の高からんことを祈るや切である。

経済学部長松原教授　商学部長広田教授

九月十八日付で人事異動があり次のように発令された。教授・高木秀玄、教授・越後和典、十七日付にて経済学部長ならびに同部長代理を願により解任。教授・松原藤田同十八日付にて経済学部長に就任、任期は昭和四十三年九月三十日まで。教授・鯰江城夫、同日付をもって経済学部長代理に就任。任期は部長に同じ。

また、十月十六日付で商学部長ならびに同部長代理にも異動があり、教授・安田信一、教授・寺尾晃洋両教授が同月十五日付で願により解任。同十六日付をもって、商学部長に教授・広田司郎、同部長代理に教授・清水宗一、就任。なお任期は昭和四十三年九月三十日までである。

経済学部長　松原藤由

松原経済学部長

（経博）昭和23年4月本学専門部学生部長　同26年10月学部学生部次長　同32年10月教養部長代理　同33年10月経済学部長代理　同35年1月本学理事　同年10月経済学部長　同37年9月理事。

商学部長　広田司郎

広田商学部長

（経博）昭和23年京都大学卒　同25年7月山口大学経済学部助手　同27年4月講師　同37年1月本学商学部助教授　同38年4月教授　同39年10月商学部部長代理　同42年4月経済政治研究所員。

経済学部長代理　鯰江城夫

人事異動

昭和16年神戸経済大学卒　同23年10月本学専門部講師　同24年4月学部講師　同25年本学短大講師　同28年4月短大助教授　同32年4月経済学部専任講師　同35年4月助教授。昭和37年10月就職主事　同41年1月経済政治研究所員　同41年4月経済学部学生主任。

商学部長代理　清水宗一

昭和26年神戸経済大学卒　同28年6月本学商学部助手　同32年4月専任講師　同35年4月教授。昭和35年4月―同37年3月　経済政治研究員歴任。

校友総会、11月18日に決まる

豊富なアトラクションも準備

昭和四十二年度校友総会は、九月二十五日の常議員会で検討され最終的な案としてまとまった。先月号にも一部掲載したように本会執行部長連絡会で練った構想を常議員会にはかったもので、ほぼその大綱どおり承認され、最終的な結論に達したもの。それによると、期日は、11月18日（土）午後4時開会、場所は、大阪市都島区東野田・太閤園、会費は千円、参加者目標人員を八百名一千名とし、現在銀行・信託・金庫・組合などに一五六名で最も多く、次いで機械製造業が一〇五名、化学・薬品・工業が一〇二名、繊維販売九六名、金属製品製造業九一名、建設業八三名が多くなっている。次いでは繊維製品製造業の七六名、その他の製造業五九名、食料品製造業五三名が主なところである。二部では繊維製品製造業の五名が最も多い。

校友総会日程

15：00	開場（受付開始）
16：00	開会　学歌演奏
	校友会長あいさつ
	理事長・学長あいさつ
	会務報告（文書）
16：30	乾　杯
	応援団吹奏楽部演奏
16：50	アトラクション
	演芸・歌の花束・その他

自然科学系では唯一

十学科に拡張・充実なる

工学部

工学部は、科学技術教育の振興が急務とされる時代の要望に即応し、昭和33年度より開設されてすでに十年近くになる。開設当時は五学部で出発した工学部も、今では十学科（機械工学、電気工学、化学工学、金属工学、管理工学、機械工学第一、応用化学、土木工学、建築、電子工学）に充実し、千里山キャンパスに一大偉容を誇るまでになった。充実した教授陣と完備した研究実験設備を持ち、理論と実験実習に力を注ぐことを特色とする。専門技術の習得に努め、卒業後直ちに役立つ高度の技術者の養成を目的とするし、京阪神の工業都市を控える産業界からもその発展を嘱望され、また大きな期待がかけられている。

今回は工学部の概要を紹介することにとどめて、次回から各学科を詳細にめぐり歩くことにするがここでは簡単にアウトラインを見ておきたい。各科の主な要旨を挙げると

機械工学科＝力学、設計など基礎理論に基づいた生産機械工学に重点を置いた学科で、応用能力を十分発揮できるような教育を行なっている。

電気工学科＝電気工学の基礎知識を体得し、将来電気主任技術者としての素養を身につけさせ、また最近の要請に応えるため自動制御電子計算機などの新分野の基礎も習得できるようにしている。

化学工学科＝化学工業に必要なプロセスおよび化学機械装置とその操作の理論と応用に重点を置いて教育する。

金属工学科＝金属工学の基礎、応用両部門および関連学科目を広く習得し、特に実験実習に重点をおき、現場にすぐ役立つ技術者となるようにしている。

管理工学科＝工場における生産活動の運営推進にあたる技術者を育成することを目的とし、生産管理運営のための諸学科を有機的に配合している。

機械工学第二学科＝機械工学科とほぼ同じ教育方針。特に機械設計およびその基礎になる学問に重点を置いている。

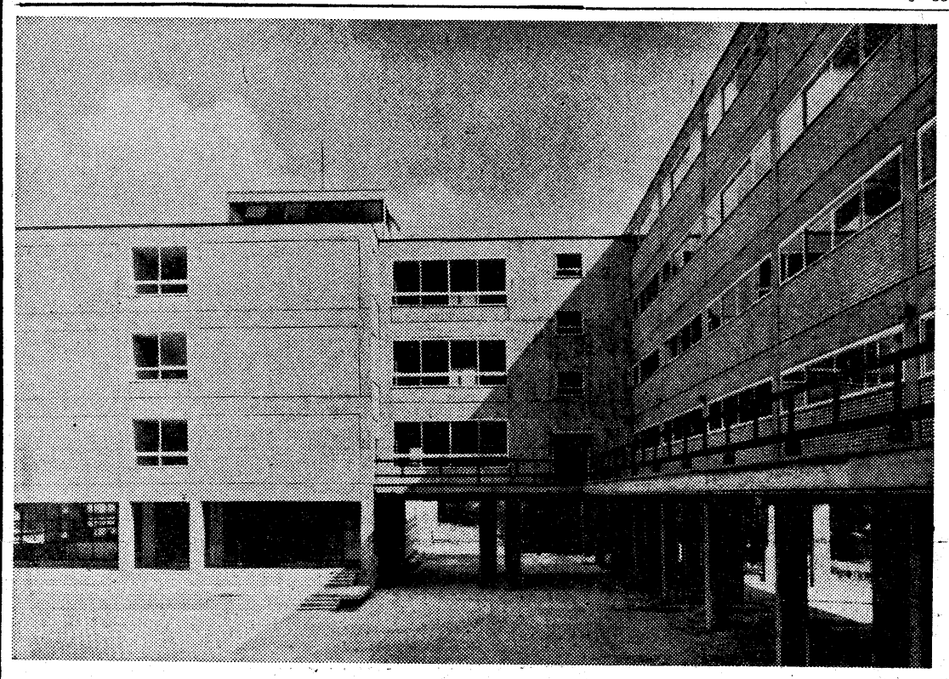
応用化学科＝化学工業発展の現状に応じ、高分子化学、石油化学、有機合成学、酵素化学などの分野に重点をおいて教育する。

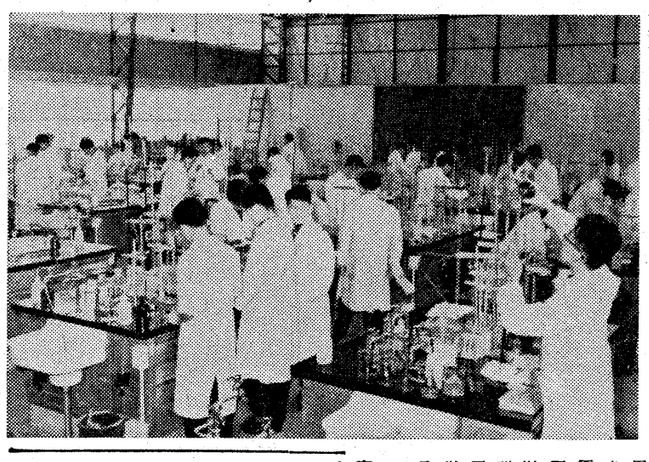
土木工学科＝構造工学、土質工学、水理工学、交通工学など土木工学の基本的理論を習得し、広く応用能力のある技術者を養成する。

建築学科＝建築生産に必要な意匠学、構造学、環境工学及び関連科目を広く習得し、特に実習に重点を置く。

電子工学科＝従来の電気工学科電子工学コースが四十二年四月より独立の学科となる。電気工学の基礎知識の体得と共に半導体工学、電子工学、超高周波工学、通信工学等を専攻させるようにしている。

写真上は工学部第四学舎、下は実験実習風景





就職率、九月で六割

金融方面へ伸びる

就職課の調べによると、昭和四十二年度卒業見込者の九月末日までにおける就職決定状況は次のようである。卒業見込者のうち就職希望者は二六一九名（一部）一一〇名（二部）のうちすでに就職の決まった者は一五三六名（一部）三八名（二部）で一部が60％二部が35％の就職率となっている。

学部別にみると一部では法（62％）、経済（66％）、文（36％）商（69％）、工（59％）同様に二部では法（33％）、経済（35％）文（24％）、商（46％）となっている。

産業分類別にみると、一部では

会を催し

◇昭和42年度日本考古学協会大会　10月28・29・30日関西大学法文学舎など

帰国

▽高尾忠男教授　商学部教授高尾忠男氏は、アメリカ会計学会参加ならびに学術研究を終え、九月二十六日午後四時十分新大阪駅着で帰阪された。

▽前原昌仁助教授　文学部（仏文学科）助教授前原昌仁氏は、在外調査研究を終え、九月十七日午後十一時伊丹着で帰阪された。

人物

武田顧問、東京移住

武田顧問武田咸之助先生（八六）は本年二月以来心筋症で静養されていたが、一人で散策できるまでに回復、医師の勧めもあって弁護士事務所を閉鎖し、五十二年の青屋の旧居を引払って、令息令孫の住いされる東京に、芳子夫人とともども去る九月三十日離阪上京された。

東京の新居は、渋谷区西原三丁目四一、電話四六六―五九八七

経済学博士になった東井正美教授

口…話しがはずんで、現代の学生気質について、教授の関大生時代と比較して話される。まず「遊び方を知らない」といわれ「昔の関大にあった情熱と団結が次第に影をひそめつつある」と寂しそうに語られる。"木陰で恋を語らい、友と論じ合った意気あがる学生時代"をふと思い出されたのか。教授の学生時代を記者が思いあたるのは関西大学七十年史に見る学生新聞復刊の件である。廃墟の中からたくましく立ち上がったその復刊第一号の紙面の「再刊の辞」を思い出す。少し時代がかった文だが、なかなか美文であり、熱気がこもっている。教授の学生時代の一面が見える。

口…昭18専商、昭22大経卒で本学大学院および東大大学院で農業経済学を専攻。昭和25年関大助手。助教授のとき英国レッディング大学でゲスト・プロフェサーとして小農問題を研究。現在は経済学部教授、教養部長代理として忙しい合い間に音楽を聞くのがたのしみだとか。吹田市青山台2丁目7の団地に居住。

東大阪市議会議員

滝住光二　42（昭25専二法・昭27学二法）農林省大阪食糧事務所東大阪出張所現在高槻長

辰巳　保　41（昭27学一経）貸室業、布施市議会議員

教授登場 ㉜

口…ニュータウンの教授宅を伺うと、さわやかな秋風にのってクラシックの静かな音楽が聞こえてきた。「忙中閑あり」というところで、大いにくつろいでおられるらしい。記者も静かなクラシックに誘われるままドアーを押し、登壇してもらうことにした。

教授は農業経済が専門で、経済学部で農業経済学、英書、演習などを担当され、農業経済論研究を修士課程で講義されている。この五月に「日本の農業政策」の論文で、関西大学経済学博士になられた。そのことについて尋ねると、「近代化した社会の中で、ひとり前近代的な慣習を残している日本の農業には問題が多い。論文は小農法則と日本の農政についての研究でしたが、その意味では、あくまでも一里塚です。」と即座に答えられる。静かだが熱意がこもっていた。

さつのなかで大学の近況を報告して頂く予定であり、またアトラクションには、堺すすむ氏の司会で演芸を用意、同氏の「おしゃべりギター」、横山ホットブラザーズの「音楽ショー」、また歌の花束では、泉あつの、池久美子（コロムビア）などの歌手が総会に花をそえる。その他東芝専属の森下美智子も予定に上っている。

会場は、舞台設備を付けたガーデンパーティー式の設営で、庭園内にジンギスカンコーナーも付けられる予定。

暮の雫

秋、十月、いちばんよい時候である。時候がよいだけでなく、豊かな実りの秋でもある。田には、波うつこがねの稲穂、野山には、リンゴ、梨、柿、栗などの果実が、枝もたわわに、そして、色どり鮮やかに、うれる。万象みな、充実の季節である▼さて、人も、またこの季節に充実する。つまり、読書の秋を迎えたのだ。さわやかな大気、気も心もすがすがしく、それに静かな夜長がつづく、秋灯下、好きな本を読むもよし、研究や、勉学のための専門書にいどむもよし。いずれにしても、一頁でも多く本をめくる。それが楽しい心の糧（かて）となり、また、それだけ知識が深まり、それだけ教養が豊かになる▼今年の夏の暑さは格別であった。健康な人でも、日々の事務や役職について、当然、それらにともなう研究、調査の読みものは別として、いわゆる、読書といえるような本読みは、おそらく、なすべき気持ちはありながら、じゅうぶん、なしえなかったであろう。したがって、この十月、さらに、十一月には、それらのやむない怠慢と、おくれをとりもどし、その穴埋めのための読書を励行し、精神的充実への気構えで、この秋をすごしたいものだ▼もうひとつ、秋は、体育の秋でもある。天高く、気持ちよい秋晴れの日に、町の広場や、学園の校庭は、運動会ばやりである。幼稚園から大学まで、すべてが運動会をひらき、体育祭を開催する。国民体育大会も、この時期にひらかれ、あらゆる競技、あらゆる試合、それらの多くは秋に開催される。はなやかな競技、きびしい試合、さらに、壮麗、目をみはるマスゲームなど、いずれも、人々の生きる喜びであり、健康の謳歌である▼しかし、もちろん、競技や試合だけが体育ではない。人、それぞれの年令に応じた運動、たとえば、次元をさげて、ただ独り、川っぷちを歩いて、釣を楽しむもよし。山裾の散歩もよい。それらは、秋なればこそ、いっそう、快よく楽しい健康法である▼きびしかった夏の試練をすませ、暑さと闘った心身の疲労をいやし、さらに、健康の増進のため、自己の体力と好みにふさわしい運動や、レクリエーション、これらは、精神を養うための読書とともに、肉体を養うために、ぜひ必要な運動である。仕事の余暇、この二つのことを、今秋の実行項目としたいものだ。

発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪（388）1121代表
振替口座大阪55594番

コンタクトレンズ
メガネ
大学堂
本店　心斎橋筋
TEL (271) 7891
支店・阪神百貨店5階
・才一生命ビル専門大店

印刷原版の御相談は　特許YNカラー
ヤマト写真製版株式会社
大阪市東区内久宝寺町2－36
電話　大阪 06・941・8465(代)

筆鉛ペン
代理店
株式会社ニシカワ
大阪市東区南久宝寺町一丁目五七
電話大阪 (261)5737(代)8148(代)
(271)8114(261)1340
取締役社長　西川　元

最高のおくりもの
カタノ紳士服地
岸野洋服店
大阪市東区北浜三丁目（電停前）
電話 大阪(231)五五〇・(231)五六六・(231)五七〇
大阪駅前店 第一生命ビル 専門大店
電話 大阪(341)〇七九一
英国サビルロウコールマン社・英国T・B&サンス社日本総代理店
カタノ良イ　カタノ凝ラヌ　カタノ崩レヌ　カタノ洋服店

*日本全国をもれなくネットし
躍進する太平グループ
北は北海道より南は鹿児島まで日本全国に支店・営業所200余ヵ所
家づくりからレジャー事業まで安心してお任せ願える
太平グループに、ぜひご相談ください。
太平グループ提供テレビ番組
〔ミノルフォン スターパレード〕
毎週日曜・午後4時30分より
毎日放送テレビ（4チャンネル）
●各社営業案内書御一報次第贈呈
大阪支店・大阪市西区阿波堀通り（信濃橋交差点）
電話（531）7531代表
太平ビル 18階（太平グループ各本社収容）
太平グループ　太平住宅　太平火災　太平ビルサービス　太平観光　ミノルフォン
理研映画　太平木材　太平印刷　太平出版　タイヘイフィルム　太平会館
大阪支店
本社・東京新宿駅南口甲州街道沿・太平ビル　電話(343)1111大代表～1169

学費のお払込みは"ぜひ"
明るいダイワの窓口へ
銀行プラス信託――2倍べんりな
大和銀行
有利なしくみ
〈ダイワ トリプル セット〉
金銭信託――元本保証、もっとも有利な利回り
定期預金――身近なプランに、暮らしのそなえに
普通預金――いつでも使える、ムダがはぶける
●プランにあわせて、ひとつだけでもお選びいただけます。

北から・南から　各地支部だより

母校と相互交流

大島副会長、岩本教授らも参加

鳥取支部

組織部では、遠隔地域支部の組織強化を推進すべく、その具体化を急いでいたが、このたび鳥取支部総会を機会によい よ本格的な運びに至った。

鳥取支部（奥沢　澄支部長）の総会は十月七日（土）午後五時半より市内末広町「一の湯」において二十二名の参加を得、校友会本部より大島副会長、倉谷、千巌両組織副部長、また大学よりは法学部岩本三郎教授の出席のもとに開催された。ことに今回は母校との相互交流を兼ねた拡大総会とあってか、奥沢支部長を中心に熱心な校友が続々とつめかけ、定刻五時半には八割近くの出席をみるといった状況であった。

総会は母校並に校友会本部との交歓を中心に進められ、奥沢支部長の挨拶の後、本部の大島副会長から校友会本部の機構並に最近の活動状況の紹介、倉谷、千巌組織両副部長から組織一般について、その内容及び問題点について体験を交えての話があり、続いて母校について法学部岩本　毅教授（東伯郡出身）から入試問題を中心に近況の紹介がなされた。

会は続いて母校創立八十周年記念記録映画の上映につづり、ここでは総合大学としての偉容を一段と整えつつある母校の姿に、見るもの全員が感慨を新たにするといった、遠隔支部ならではの光景であった。

会は感慨さめやらぬ中を懇談会につづり、大島副会長の音頭で乾杯がなされ老若の隔りを越え、福島、天六、千里山と各学舎に学んだものそれぞれが、在学中の思い出に、また下宿のそれと花を咲かせての和やかな親睦の宴となった。そして語り尽きぬ中を午後九時全員起立し学歌を斉唱し散会した。

鳥取支部は奥沢支部長の尽力により堅く結束され、現在では四十名にわたる所在判明の会員を擁し、このたびの総会についても校友の集いとしては珍しいほどに若手校友の参加が多く、それだけに盛り上りもありかつ相互の交流が持たれた点印象的であり、今後の組織発展が大いに期待されるものである。

当日の出席者は次の通りであった。

田中　浩遇　山崎二郎、奥沢　澪、橋本喜一郎、松井鶴幸、寺本　寛、安部誠吉、谷口康成、田中　薫、西村正美、平野冒男、古寺善三、宮本康彦、豊野通弘、市村雅彦、西　義友、樫本英夫

なお鳥取支部は鳥取市西町一丁目二八奥沢会計事務所（電話鳥取㉒三七四七）に事務所をもち鳥取在住の校友からの連絡を待っている。

なごやかで強いきづな

鳥取支部総会に参加して

十月七日大島副会長、当地出身の岩本法学部長代理、組織部、事務局等五名、会場「一の湯旅館」にて支部長・奥沢澄（昭・8、大経卒）氏の歓迎をうける。

《時間厳守》

印象の第一は開会の定刻五時三十分、晩秋を思わせるような冷たい山陰の雨、これは遅れるぞの予想は見事はずれ、支部長さんの案内で会場に入った時にすでに大正十三年商科卒の田中浩道大先輩を筆頭に、予定の人員が会議形体に整然と居並ばれ、強く胸を打たれた。

《強固なつながり》

会員相互のなごやかさ、強いきづな、血のつながりを思わせる親密度、とうてい大都会支部には見られないもので、地方支部独特のフンイキを持つ、なぜだろうといろいろ話し合っている内に、はっきりしてきた。在学時代すでに故郷をはなれて下宿し、同郷の友を兄弟として悩みの相談からアルサロ通いまで先輩のご指導よろしきを得たこと、また社会に出られても人口十一万人の鳥取市＝郷土にしめられる各位のポストも、活躍も大きく、仕事上のつながりも強いようだ。なお近在支部のように卒業後のつながりでなく、卒業前にすでに県人会として一体感があったため、それを卒業後そのまま支部に持ち込まれている特徴がある。

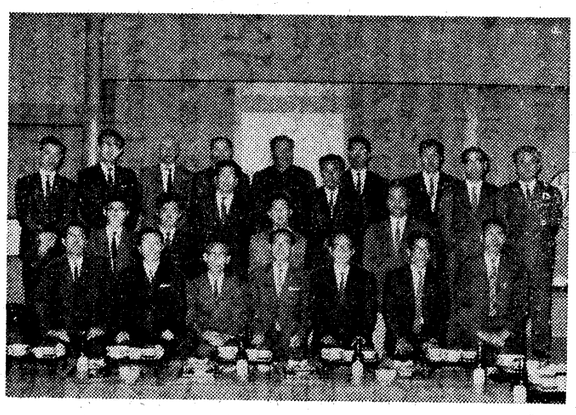
《支部長はオヤジ》

最後に何といっても、この支部の盛会の最大の原因は、奥沢支部長の功労と人柄によるところが大きい。会員一人一人との連絡りは実に密で、ほとんどは在学時代すでにお世話されている。何んでも戦災後随分ご苦労なさったようだが、話しの中に次々とウイットの飛び出す、ユーモアに満ちた円満な人柄だ。会員の自己紹介にも必ずその後に補足される、本人の学生時代の事は、仕事から趣味に至るまでなので、驚きいる。さすが完全掌握の名支部長である。「うちの親父は口は悪いが腹はよいで……」と誰かがいっていた。

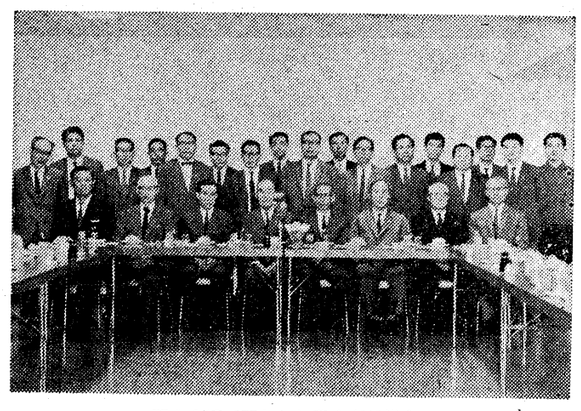
オヤジと親われる支部長に、ほのぼのとしたものを感じる。そしてこの名支部長を取りまく橋本副支部長、安部、古寺、田中のファイト幹事諸兄が益々支部強化に尽力されるので、鳥取支部は繁栄されるものと確信しました。

支部のみなさん、あの日の御厚情、紙上より深く御礼申し上げます。

組織部副部長　千巌克郎



鳥取支部総会に参加の人々



関大会館で開かれた豊中支部総会

支部長に今井氏

総会で芦田氏（毎日新聞）が講演

豊中支部

豊中支部は十月四日（土）午後四時から関大会館で支部総会を開いた。出席者は二十二名で、なつかしい大学キャンパスを逍遥して広い学舎や新築なった学舎などに目を見はり、旧クラブハウスだった診療所などをなつかしんだ。

三階会議室では、総会に先立ち豊中支部の会員でもある毎日新聞の論説委員芦田定男氏が「トナム問題の今昔」を講演。アジアにおける日本の立場は、沖縄の問題も合わせて考えるべきであると結んだ。

続いて総会にはいり、七十・八十周年記念を強力に支援され長く支部長を努められた安倉支部長から辞意が表明され、後任に今井康兼氏を推薦、同副支部長に榎原氏を重任することが満場一致で承認され決定した。また支部の顧問に岡野前校友会長が推薦され、これも承認。中務氏と顧問が二名になった。

なお本部から大島副会長が出席した。

森川前学長を慰労

十三会例会　板橋博士も出席

大正十三年卒業生が中心の十三会（幹事頓宮勇・江川透）は、終戦後すでに53回の例会を重ねたが、54回例会を十月五日（木）午後五時半から南地"いろは"で、会員森川博士が病気のため学長を退任された慰労をかねて開催した。

来賓として東京から大学顧問板橋菊松博士、校友会から樫本会長が出席された。会員では東京から太平住宅社長中山幸市氏、また卒業後初めての菊島正太郎が白髪童顔でわずかに学生時代の俤が残っているかとうかの久闊ぶりで福島時代の昔話に花がさいた。

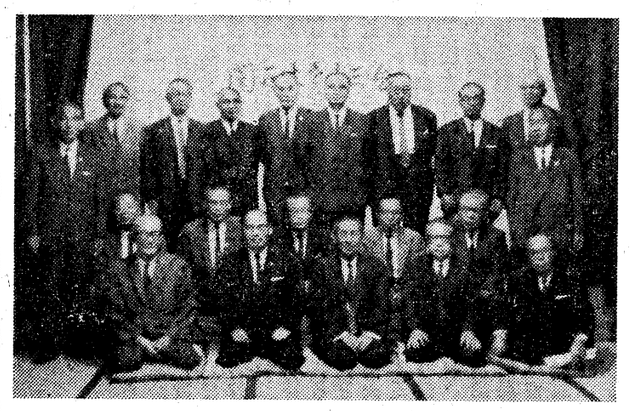
板橋博士は高齢八十を超えてますますかくしゃく、大学の東京駐在、私学連常任理事として活躍しておられ、故岩崎学長や森川教授たちと共に、母校教授時代のよもやまのエピソードを披露して、ユーモアのうちにそれぞれの面白い人生時代の話しに花が咲いた。

森川博士は、校友会の盛会の功労と人柄によるところが大きい。会員一人一人との連絡りは実に密で、ほとんどは在学時代すでにお世話されている。何んでも戦災後随分ご苦労なさったようだが、話しの中に次々とウイットの飛び出す、ユーモアに満ちた円満な人柄だ。会員の自己紹介にも必ずその後に補足される、本人の学生時代の事は、仕事から趣味に至るまでなので、驚きいる。さすが完全掌握の名支部長である。「うちの親父は口は悪いが腹はよいで……」と誰かがいっていた。

オヤジと親われる支部長に、ほのぼのとしたものを感じる。そしてこの名支部長を取りまく橋本副支部長、安部、古寺、田中のファイト幹事諸兄が益々支部強化に尽力されるので、鳥取支部は繁栄されるものと確信しました。

支部のみなさん、あの日の御厚情、紙上より深く御礼申し上げます。

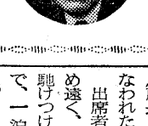
組織部副部長　千巌克郎



十三会例会に参会のご一同（前列中央が森川前学長）

森川前学長を犒う

前川信之助



敬愛する森川学長がご健康の故を以て任期中途でご退任のやむなきに至ったことは、発展途上にあった母校関西大学のため惜しみてもあまりあるものである。

過ぐる昭和四十年の母校創立八十周年の栄ある式典には学内外の興望を担って学長として大任を果され、今はなき岩崎学長が、創立七十周年の意義ある式典を挙行されたこととともに、関西大学史上かがやかしいことである。

と同期同窓の一人として、衷心から欣びを覚えるものであります。

先生は学界における名声はすでに久しく、近来いよいよその学説は円熟味を加え、学界における地位は年毎に重きをなしつつあることは衆知のところであります。

果せるかな、学長としては二年の短かいご在任中でありましたが多年懸案の社会学部の創設、工学部にこれも多年設置を望まれていた「土木工学科」「建築工学科」「電子工学科」の三科の増設を実現し、着々と大学の充実に残されて、更に研究と教育に円熟された長老として、今後ますます大学の発展にご尽力賜わらんことを切望し、ご自愛をお祈りする次第であります。

（まえがわ　しんのすけ氏は大正十三年専門部法科卒、ナショナルインターホーン販売KK社長）

先生は学問研究には峻厳な反面人間的にはまことに愛すべき親しみ易いところがあり、同期生の仲間では"タロー"さんというニックネームがあり、そのニックネームに対して先生は無邪気に笑って応える一面もあり、本名"太郎"で、そのニックネームはユニークな愛すべき存在であります。

ご健康の都合とは云えこの名学長を失うことは、私たちにとっては惜しみても余りあることでありますが、何卒先生は今後健康に十分注意されて、更に研究と教育に円熟された長老として、今後ますます大学の発展にご尽力賜わらんことを切望し、ご自愛をお祈りする次第であります。

（まえがわ　しんのすけ氏は大正十三年専門部法科卒、ナショナルインターホーン販売KK社長）

卒業30年、生誕50年を祝う

五十経会クラス会総会に出席して

平沢農一

昭和十三年三月卒業以来三十年寿齢五十年を祝う五十経会（昭和13・専門部経済科卒業生）のクラス会総会は八月二十六・七日両日にわたって比叡山延暦寺展士林（所長　桑上照灯あじゃり）で行なわれた。

出席者は地元大阪、神戸をはじめ遠く、東京、福井県武生市から馳けつけたクラスメート等十二名で、一泊クラス会は盛会であった。

二十六日午後三時、国鉄京都駅長室に一同勢揃いしてハイヤーで奥比叡高速道路を上り、伝教大師生誕千二百年祭記念行事で設立された比叡山大学（日本最古の大学）の再興、近代版の道場、古士林（こじりん）に到着、さっそく比叡の一風呂に都塵をあらい流して、寺側の行業に参加。午後六時から斉食儀による精進料理の堪さんをいただいた後、同席で懇談のひとときを過した。

卒業後三十年のうつりかわりは世相そのままに、日支事変出陣、海外生活、抑留、再起、子供の教育、子供の結婚にまで進展し、話題そのものが人生五十年の各人を語っていた。

午後八時三十分、古士林のご好意によって、はなれの別室が寝室にあてられ、お互いは学友出征の大野君、北本誠一君（朝日新聞大阪本社財政部長）、中村正君（安田信託大阪支店不動産部長）の動静など、今宵のひとときの語らいは卒業後三十年の歳月をどこにも感じさせない程、思い出話は遠方より来る。また楽しからずや〇の言葉のとおり、寝も寝ずに、思い出の仕々さ等に森々静寂の西塔の森に友を呼ぶ声となって聞こえたのは私のみではなかったと思う。

八時からの写経は大部分が初めての所業で、指導僧に脱字、誤字の始末を幼稚園の子供のように教えを乞う五十歳の中老の姿は大学在学当時の童顔、そのものであった。

三十年の邂逅の楽しみと生誕五十年一期の止観を了えて山を下った。

昭和十三年卒業生の面々

人　それぞれ

金沢弁護士会の会長を務める　木梨　与松氏

○…今年の四月一日、金沢弁護士会の会長に就任された木梨氏は、温厚な人がらである。数年前までは、あこひげをのばしておられたそうだが、今ではきれいに切っておられる。いかにも人のよさそうな落ち着いた人である。

金沢弁護士会では校友関係は二名で奮闘されており、今年は弁護士会長に押されたのもその人がらが買われてのことだろう。ほかにも昭和二十三年弁護士会に入会するや、現在まで金沢地裁、家裁の調停委員、法務局人権擁護委員、石川県麻薬取締委員会委員、羽咋市外三町環境衛生組合公平委員長、羽咋市選挙管理委員会委員長、羽咋市教育委員長などを務められている。

○…今年は、金沢弁護士会はじまって以来といわれるくらいの激しい選挙戦だったようだが、これに対しても「今日如何なる弁護士会では数少ない、独立の弁護士会館が工費百万円で完成し、気分を一新して全会員は本務に精励されています。」と会長としての会運営の件もおこたりなく務められている。「弁護士は束縛を受けず、自由に法律事務を処理している反面、勉強する時間にも恵まれているはずなのに勉強しない」と批判されることも永年豊中支部長を努め、校友会に積極的な援をおしまれなかった安倉氏に謝意を表わし、また今井新支部長のもとでの盛況をお祈りした。

○…今年の四月一日、金沢弁護士会の会長に就任された木梨氏は、温厚な人がらである。数年前までは、あこひげをのばしておられたそうだが、今ではきれいに切っておられる。いかにも人のよさそうな落ち着いた人である。

金沢弁護士会では校友関係は二名で奮闘されており、今年は弁護士会長に押されたのもその人がらが買われてのことだろう。ほかにも昭和二十三年弁護士会に入会するや、現在まで金沢地裁、家裁の調停委員、法務局人権擁護委員、石川県麻薬取締委員会委員、羽咋市外三町環境衛生組合公平委員長、羽咋市選挙管理委員会委員長、羽咋市教育委員長などを務められている。

○…今年は、金沢弁護士会はじまって以来といわれるくらいの激しい選挙戦だったようだが、これに対しても「今日如何なる弁護士会では数少ない、独立の弁護士会館が工費百万円で完成し、気分を一新して全会員は本務に精励されています。」と会長としての会運営の件もおこたりなく務められている。「弁護士は束縛を受けず、自由に法律事務を処理している反面、勉強する時間にも恵まれているはずなのに勉強しない」と批判されることも永年豊中支部長を努め、校友会に積極的な援をおしまれなかった安倉氏に謝意を表わし、また今井新支部長のもとでの盛況をお祈りした。

職場においても研修を重要視しており、司法部内においても判検事の研修を怠らず、かつ回書も盛宮に各判検事へ最高裁から配配され、さらに宅調を廃して修養の時間を考慮されている。「司法の一支柱を負荷されている在野法曹も、判検事に劣るようでは一般の信頼に応えられない。特に日弁連で提唱している法曹一元化の実現のためにも弁護士自らの人格識見を高めなければなりません。」と答えられる。この問題は、都会、地方を問わず、在野法曹の連帯をもって押し進める問題であろうともいわれ、「私自身は、各単位弁護士会に研修を義務づける必要もあると考えています。」と意欲的である。

○…きなし・よまつ氏は昭和十七年大法卒で、同二十三年弁護士会入会。同四十二年二月金沢弁護士会会長に当選、四月一日就任、同四月一日、日本弁護士会常任理事。石川県出身。趣味は「碁」と「つり」で、特につりに行く時は前の日から楽しんで行かれるそうである。旧姓中橋氏。

純正会、箱根越え

秋季総会兼ね一泊旅行

守口市役所支部

守口市役所純正会は九月二・三日の両日にわたって、恒例の昭和四十二年度秋期総会を兼ねて箱根一泊旅行を行なった。

植村会長以下五十三名の会員に吉川、小浜の学歌を聞きつつ散会。

翌日は絶好のドライブ日和で、バスは箱根スカイラインを快適にとばす、途中、大観峠展望台からは残念ながら美しい富士の姿は見ることができなかったが、水のきれいに澄んだ芦の湖を眺めながら、元箱根に着き、船で箱根園に渡り昼食をとる。昼食後、ボートに乗ったり、またドライブを続ける。イオウの煙き出る大涌谷に登ったり、そろそろ日い穂を見せはじめたすきが原を突っ走り、小田原に到着。新幹線で帰阪する。

なお、総会で役員改選を行なった結果、次のように決まった。幹事、中谷秀二郎、田村丹、橋本正一、大倉（旧姓広川）豪美、北田長二郎。

関大スポーツマンクラブと改称

天六会、学園祭に総会

今年の学園祭は、十一月十一日より天六学舎を中心に開催されるとのことであるが、体育OB会である関大スポーツマンクラブ（天六会改称）はこの日を期し総会を開催する。六時半より現役スポーツパレードを激励したあと、八時より天六学舎内においてOBの親睦を深める。

この総会の件に関し、十月六日午後七時より天六学舎有隣館大会議室において、OB会の顧問参与会議を開催した。参与である傘下各部OB会長若しくは代表者を中心とし、千巌名誉会長・顧問・その他の参与の他、執行機関の世話人等合つせて三十名近く。議長は新子顧問であった。

まず開会の辞ならびに各部OB会長の紹介（新子）。挨拶ならびに執行機関世話人の紹介（尾目）会務報告（新子）。会計報告（小島）。現役現況報告（現役体育会本部長）と報告事項を終了。

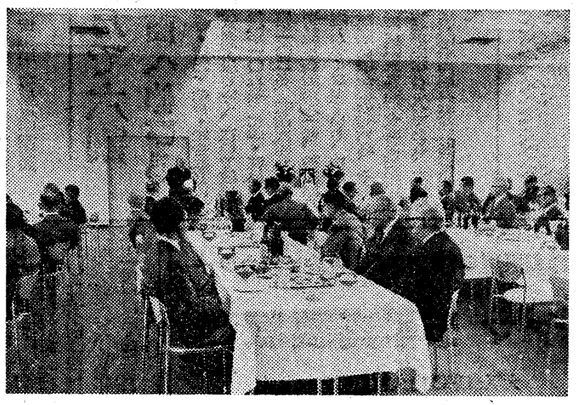
当会が会長を中心として全会員の積極的な参加によって前進し発展することを訴え、また近来特に関大スポーツマンクラブと改称され決定した。

故三好氏をしのぶ

関係者が関大会館で追悼式

元関西大学理事長故三好万次氏の追悼式が、九月二十日（水）関西大学会館四階集会室で開かれた。会場中央に故三好氏の写真を安置、会場には故人と親しかった関係者五十七名が参会、故人をしのんだ。

この追悼式の主宰者として、まず久井理事長があいさつ、参会者をねぎらい、故人を偲び、会員で約一分間の黙祷。続いて各氏が故人の思い出をそれぞれ語った。近鉄の草創期に活躍奮闘されたこと関大理事長に迎えられるいきさつ病気で総会から手を引かれ、最近逝去されたことなど、各氏が故人の情にふれる人間味あふれた人格ぶりを語ってなつかしんだ。



故三好氏の追悼式であいさつする久井理事長

京都支部秋季総会

秋晴深みゆく洛北鞍馬において京都府支部の秋季総会が開催され、本部より樫本校友会々長、久井理事長の御出席を賜りかつ学園並に本部の隆盛の近況を聞き、総会は片岡幹事、議長となり諸議案の審議並に承認を得る。特に幹事会費納入の件についても審議した。千巌氏の閉会の辞で、総会の盛会を申し合わせて十時近く散会した。

なお、来たる総会には、往年の懐しい大多数の顔を誘い合わせて、旧交を温め、親睦を深め合うことを期待している。当日は多少の会費は入用である。

掲示板

寺部氏、安城学園理事長に就任　寺部清毅氏（昭15大法）は、このほど安城学園（愛知県安城市）理事長に就任された。同時に附属高等学校長、中学校長及び愛知女子大学附属幼稚園長も兼任される。

右島和三郎氏（文学部専任講師）は十月九日午前十一時四十五分脳溢血のため逝去された。

播磨卓氏（大14予大、昭3大法、弁理士）は十月九日夜、胃病のため逝去された。

慶聞のぶさん（社会学部教授藤間常太郎氏御母堂）は九月七日午前〇時老衰のため逝去された。なお告別式は仏式にて九日午後二時から曼中市市岡町南四丁目の自宅で執行された。

コーヒー教室開く

大石氏迎え関大会館で

十月十四日（土）午後一時から関大会館三階会議室で「会館コーヒー教室」を催した。ダイヤモンド商会社長の大石勝（まさる）氏（昭3専法）を講師に迎えて、約二十名が出席。コーヒーを試飲しながらコーヒーに関する話しを聞いた。

一杯のコーヒーのおいしい入れ方は、小さじに三杯ぐらいを45秒ぐらいでこすのが秘訣だとか。東京のコーヒーより大阪の方が、大阪でもミナミよりキタのコーヒーの方がおいしいなど、あまり知られていない嗜好の違いなど詳しく話された。最後にコーヒーを入れる実演までサービスされてコーヒー教室を終った。

重油・軽油・石烈・セメント・生コンクリート・電線・架線金具の販売
各種食堂の経営・土地建物の売買
モータープール経営・養豚業
阪急産業株式会社
取締役社長　堀田正行
大阪市北区角田町33　阪急航空ビル

和紙・洋紙
丸中紙業株式会社
中村健次
（旧姓籔中）昭33法卒
大阪市東区内久宝寺町4－31
電話　大阪（761）8206～7

袋物（贈答用品）の　廣島屋
カタログ進呈
財布・鞄　ETC.
（50ケ以上承ります）
株式会社廣島屋本店
大阪市東区博労町1丁目26
T.大阪（261）2431（代）.3260.5260番
専務取締役　蔵田廣造
（昭和25年旧制経済卒）

くらしの近代化と産業の発展に奉仕する
クリモト
ダクタイル鋳鉄管・バルブ・橋梁・水門
破砕機・乾燥機・集塵機・プレス・特殊鋳物
株式会社　栗本鐵工所
本社　大阪市東区唐物町4の26　TEL 251－3431
東京支社　東京都中央区日本橋2の8　TEL 272－5461
支店　名古屋・北九州・札幌　営業所　仙台・福岡

塩化マグネシウム
フレークニガリ
臭素及臭素塩類
臭化水素酸
硫酸マグネシウム
苦汁加里塩
軽質炭酸マグネシウム
水酸化マグネシウム
炭酸マグネシヤ成型保温材
ゴム用炭酸マグネシヤ
ホワイトカーボン
炭酸カルシウム
ソーダ灰
硅酸曹達
塩化カルシウム
化学石膏
其他化学工業薬品全般
大阪苦汁商工株式会社
取締役社長　木村弥策
大阪市東区北浜1の6（野村ビル内）
TEL（231）3581～5番

リンゴとハチミツ入り
ハウスバーモントカレー
120g 60円・240g 110円
ハウス食品工業株式会社
札幌・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

甲子園阪神パーク
大菊人形〈真田幸村〉
好評開催中！〈12月3日まで〉
入場料　おとな 180円　こども 80円
動物の三冠王　タイポン　づくり
世界で初めてのヒヨウとライオンの子供「レオポン」のメスにトラのオスを交雑させて　百獣の王ライオン樹上の王者ヒヨウ　アジアの王者トラの血をひく三種混血獣「タイポン」がつくられることになり　話題を呼んでいます
阪神電車

探検部 夏休みの報告書

黒部谷合宿・山岳技術研究会

三ノ窓で 雪上訓練

四つのパーティを編成

合宿を前にして何度かの集会を行なった後、今回は、記録の少ない沢及び岩登りに重点を置いて、黒部川下の鄙下週辺において合宿を行なうことに決定した。

計画は便宜上、第一、第二、第三と分けて行なうこととした。装備も最初の入山時にすべて持ち込むということはせず、食糧等については、それぞれの計画の前に（第一計画は除く）現地で食糧購入の日をとって購入することとした。これは入山時に全員が四つのパーティに分かれ、バリエーションルートをとったため、特大のザックを持ち込むことが出来なかったためである。

計画は予定通り七月二十一日先発隊二名の出発によってはじめられた。そして残り七名の後発隊も七月二十三日大阪を発ち、第一計画に入った。

ここにおいては、先発隊A隊をはじめとしB、C、Dと四つのパーティに分かれて入山した。

A隊は、片貝川から毛勝山東又谷から池の平、ハシゴ段乗越経由、第二計画B、C予定地である内蔵助谷出合までをトレースする。

B隊は二名で構成され、扇沢よりマヤクボ、スバリ岳、スバリ西稜下降、大スバリ沢、赤沢岳西尾根末端トラバースを行ない、内蔵助谷出合に入る。

D隊は、新人二名を含む三名で構成され、宇奈月より軌道車で欅平まで入り、水平道路を通り阿曽原へ、そしてそこより黒部川の岸を削りとって作られた細い道を辿って内蔵助谷出合に入る。

以上の各隊は予定通りのルートをトレースし、最終B、C入り予定日の七月二十八日までにB、C入りを完了し、二十八日に第二計画の食糧購入も行なった。しかしC隊については、早月川、小又川そしてその右俣より中大日岳、奥大日岳、立山までは予定通りいったが、御前谷の下降において、大きな二段の滝にぶつかり、また地図でその下にもまた一つ大きな滝のあることがわかっていたため、滝を高まいていくのも数的に無理と思われたので、しかたなく内蔵助谷にルートを取ってB、Cに予定日ぎりぎりに入った。

翌七月二十九日から直ちに第二計画に入る。最初、別山沢右俣、中ガセン沢、第二尾根とおのおの二名の三パーティを出す。前二つのパーティは予定通りいったが、第二尾根隊は大タケガセン沢の右俣、左俣出会より引き返した。この二日間の行動を各隊ともひどいブッシュや水不足に悩まされ状態のかなり悪いことを知る。

七月三十一日より二日間を要してB、Cを二股に移動する。翌八月二日三ノ窓で雪上訓練を行ない、三日に再び一パーティを別山沢股に出す。しかし取付の雪の状態悪く、広河原の偵察を行なっただけで八月五日B、Cに帰る。

そして六日、第二計画最後のパーティを広河原に出す。ここにおいて広河原中央ルンゼの右俣左俣をトレースして八月八日第二計画を終った。

八月九日より食糧購入を行ない、八月十一日より第三計画に入る。

いままで続いていた好天もついに崩れはじめ、九日は朝から雨が降り出した。

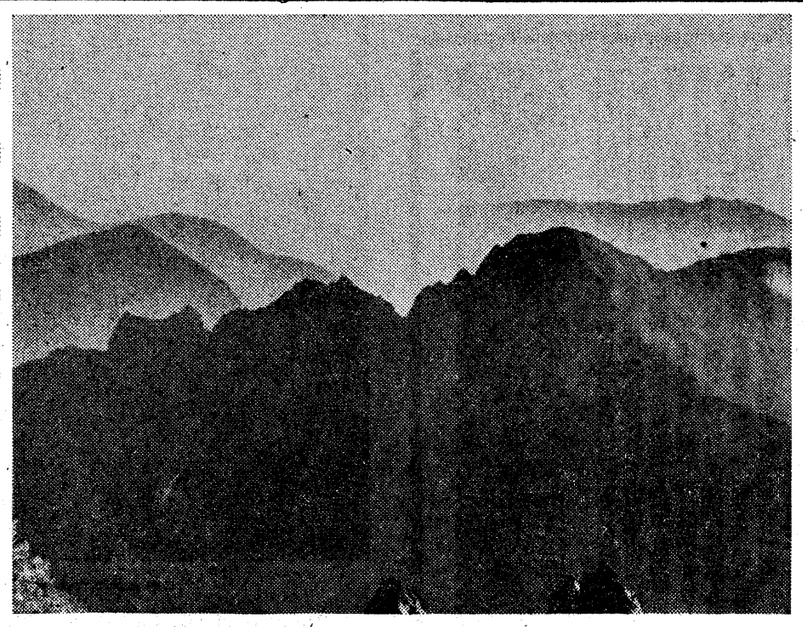
ともかく小黒部谷の口まで入りテントを張る。

それから雨は十四日まで連日ふりつづき、雨のため増水している川を前に日をすごす。

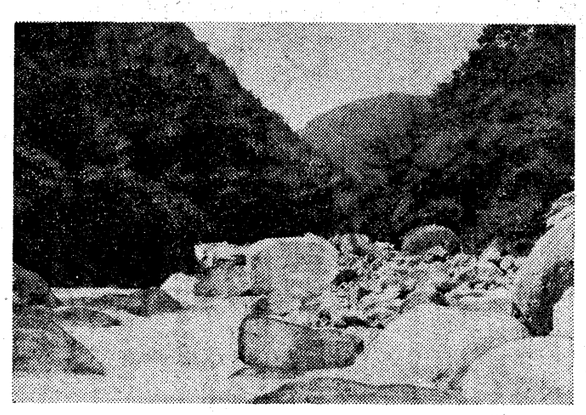
その間新たに三日分の食糧を買い足した。

天気は依然と回復せず、天気図を見ても回復の見込みはなく、十四日夕方、全員で討議した結果、十五日で合宿を打ちきることに決定下山した。

（工三・電気工学科・藤原聡）



スバリ岳西稜より赤沢岳西尾根を望む



小黒部谷廊下より広河原方面

ずいひつ

家庭に思想を

大岩正芳

「統一原理運動」にとられた息子や娘たちを返して欲しいと、彼らの親達が会を作り、学校におしかけた事件が最近の話題となった。これは東京の話だが、それ以前より関西でも「統一原理」のポスターをよく見かけた。キリスト教の一派らしいことはポスターの文面などから推察はついていたが、まさかこれ程シャーナリズムに取上げられるような問題に発展するとは予想もしなかった。新聞やテレビで見る範囲ではすべて分裂義的なもののように思える。

それはともかくとして、親達が同盟を作り、学校におしかけたとのニュースを聞いたとき、親達には少し酷かもしれないがこれは家庭に思想ないしは宗教がないからであり、それは全く親の責任なのだ。親は自ら摘んだ種を刈り取るべきである。との感じを持った。

新聞などからのみの判断で正しくはないかもしれないが、もし彼ら学生達の家庭内で、ある程度の一貫した思想があり、その思想の下に生活がいとなまれていたとするならば、学生達はあれ程簡単には洗脳されないはずである。思想の転換には迷悩が必ずついて回る。ところが彼らの入信の動機を読むとそれらしいものがあまり感じられない。少し話を聞いただけで簡単に転向しているように思える。さらに何らかの思想にとりつかれた場合、それを完全に我が物として、実践活動に移すには多少の年月を必要とするはずである。また思想が深遠になることはいうまでもない。処がある辯護士は「四日で洗脳できる」と語ったと新聞記事にあった。四日で理解できるような単純な理論を深遠な理論のように取る方も取る方だが、それよりも、少くも四十年以上の人生を経験を持つはずの親達が、それを打破れないということの方がもっと問題だと思う。

この事件は色あせた戦前の封建思想、あるいはただ単に功利主義、マイホーム主義や出世主義、その日その日を送ってきた親たちに対する見方は誤っているのだろうか。ところがそのような点にふれない。これはどうした事なのだろうか。これも不思議の一つである。

それはともかく、教育熱心なママさん、パパさん、学校の成績よりも先ず人生に対する見方、考え方をあなた方の子供さん達に教える方がより大切ではないだろうか。ただしその人生論も、子供達が大学生となった時にも、彼らと話合いのできる程度のものでなければならぬのはもちろんである。

（おおいわ・まさよし氏、工学部教授・理博）

関大蔵書 文庫をたずねて

細江文庫の巻

英語学史の宝庫

故細江博士が 私財投じ蒐集

本学図書館所蔵細江文庫は、元本学法文学部及び専門部教授故細江逸記博士が、その半生をかけて蒐集されたもので、主として英文学・英語学・言語学に関する図書約千八百冊からなる一大宝庫である。伝え聞くところによると、博士はこの尨大な文献や蒐集とその研究のために酒や煙草はもちろんのこと、総ての楽しみを犠牲にされ、最後にはその全私財を投げ出されてしまったとのことである。

このような努力によって蒐集されたこれらの図書は、博士の逝去（昭和二十二年三月）後、その御遺族より本学に寄贈されたので、それ以後学内の研究者はもちろんのこと広く学外の専門家にまで、関西大学の「細江文庫」と親しまれ今日に至っているものである。

細江文庫に収蔵されている図書はその一冊一冊何れもが、故博士の学究精神がこもっている貴重な文献ばかりであるが、特に今日はその中から古いものを選び出してそれを紹介して見ることにしよう。

本文庫についてはその当時「関西大学学報」にも紹介されているが、その記事には「文庫中にはジョンソン辞典（一七五五年版）、一般に英英辞典（英語を英語で説明した辞典）が出版されたのは一、六二〇年代と云われている。本文庫に所蔵されているこの辞典はその表示がないが実は第二版なのであり、その初版はそれを更に遡り一、六一一年に出版されているのである。然し初版は仏英辞典のみであり、この第二版に至って初めてRシャウッドの英仏辞典を合せて本格的な二カ国語辞典であり、従って英語学の研究には欠かせない重要な資料である。最近になってアメリカでその複写版が出されたと聞いているが、それはこの間の事情を証明するものであり、真に本文庫にふさわしい良書と思われる。

スピッドの英国史

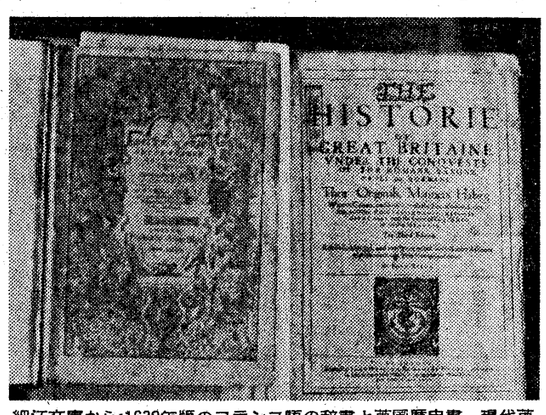
後者はイギリスの歴史家・製図家（前身は法律職）であり、イギリス並びにウェルズ各地の地図を作ったJスピッド（一五五二―一、六二九）が編修したイギリスの通史である。全頁数約千三百、含まれていることが判明した。前者はイギリスの辞書編纂者でフランス文学・フランス語、殊にフランス俗語に精通していたといわれるRコトグレーブ（推定一、五七〇―一、六三四）が編集したものである。

コトグレーブ辞典

イギリスで辞書のようなものが初めて出たのは大体十六世紀の中葉と云われており、それも当初は唯単にラテン語葉を並べてそれを英語で説明したものであったらしく、一般に英英辞典（英語を英語となったのであるから、辞典としては初版よりもむしろこの第二版の方が価値あるべきものと思われる。

見出し語約五万、総員数約千三百を数えるこの辞典は、もちろんこの種の辞典の創世期に属するもので、単語、熟語、慣用句、諺の類までが、アルファベット順に並べられている点から言っても今日の辞典の先駆をなすもので、このことは書誌学上からも興味あることである。また使用されている英語はシェークスピア時代のそれであり、従って英語学の研究には欠かせない重要な資料である。最近になってアメリカでその複写版が出されたと聞いているが、それはこの間の事情を証明するものであり、真に本文庫にふさわしい良書と思われる。

以上この二冊の図書は何れも稀書に属するものであり、現在大英博物館を始め主要の大図書館には保存されているようであるが、我が国では個人数氏が所有されているが、図書館で所蔵するのは本学が最初であろう）云云」とある。本文庫に所蔵されているこの辞典はその表示がないが実は第二版なのであり、その初版はそれを更に遡り一、六一一年に出版されているのである。然し初版は仏英辞典のみであり、この第二版に至って初めてRシャウッドの英仏辞典を合せて本格的な二カ国語辞典であり、従って英語学の研究には欠かせない重要な資料である。最近になってアメリカでその複写版が出されたと聞いているが、それはこの間の事情を証明するものであり、真に本文庫にふさわしい良書と思われる。



細江文庫から;1632年版のフランス語の辞書と英国歴史書。現代英語では「Y」がともに「IE」になっており、英語の変遷がわかる。

家族ぐるみで祭典

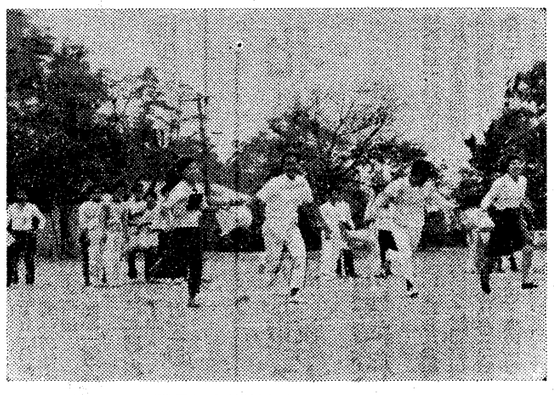
職員組合の第二回体育大会

関西大学職員組合で昨年度より行なわれている"理事長杯争奪体育大会"が、今秋も新祝日「体育の日」に施行された。

昨年は"球技大会"として、卓球、ソフトボール、バレーボールの三種目が行なわれたが、本年は執行委の"教授会をも含めた広範な催物として、大学当局の福利厚生の一環としての体育の祭典としたい"との主旨を反映、その種目も、朝の全員参加による体操・一〇〇㍍競走に始まり「カニリレー」（二人一組で長いげたを背中合わせに履き、横向きに走る）や「アトリエ競走」（グラウンド中央のキャンパスに五人のリレーで絵を画く）等の楽しいプログラムや、走幅跳・砲丸投等の本格派の競技に至るまでかなり多彩。中には「母子競走」（スタートからゴールまでの途中に置いてあるアメやキャンディー等を拾って、お母さんの手をつないで走る）といった、家族ぐるみのほほえましい光景も展開された。

この様に、開会の主旨が一方で実現しているのだが、時間的・予算的条件により、全大学職員の参加が出来なかったことが残念である。しかし、大学当局も、この大会の主旨には賛同しており、今後ますます発展していくものと思われる。今大会も来賓に本学理事長、久井忠雄氏の参加を始め、職員参加総数計二三七名、家族の総計一二三名を数えており、"大衆的懇親"の目的は達成されたようである。

なお、順位は一位＝茜組（学生課、第二学生課、就職課、一高一中幼稚園事務室組）・二位＝茶組（運営課、図書課、専門図書館、天六分館事務室、東西学術経済政治研究所、体育館事務室）・三位＝緑組（社会学部事務室、社会学部第二事務室、工学部事務室（各工業技術研究所）の成績で、事長杯は茜組の手に輝いた。



職員組合体育大会の一コマ

20日に前夜祭

千里祭近づく

恒例の"千里祭"が今年も近づいている。今回の主題は「自己錬外への挑戦」副題として「個性の認識と創造へ」と決定され、目下千里祭実行委員会（委員長・原野勝美・文学部・国文学科四年生）の下に着々とその準備が進められている。このほど左のように前夜祭の日程が決まった。

一、日時　十一月二十日（月）午後五時

一、場所　毎日ホール（大阪・梅田）開場四時半

なお、本祭は千里山学舎において十一月二十三日から二十六日（日）まで行なわれる。

近畿地区で懇談会

教育後援会が父兄を対象に

教育後援会は、地方で父兄との懇談会を開催して大学と父兄の交流に成果をあげてきたが、近畿各府県の予定が次のように決まった。

▽和歌山県△
10月29日（日）和歌山商工会議所
午後1時～4時30分
▽滋賀県△
11月7日（火）滋賀合同ビル
午後1時～4時30分
▽京都府△
11月16日（木）京都市商工会議所
午後5時～8時30分
▽兵庫県△
11月19日（日）兵庫県農業会館
午後1時～4時30分
▽奈良県△
11月21日（火）橿原会館
午後1時～4時30分

八十年史編纂室より

寺小屋から学校へ

洋式木造の江戸堀学舎

関西大学旧所在地歴訪記

◇…借家住いから脱皮へ

京町堀の塵芥捨て場跡の第一歩を踏み出した関西法律学校は、まもなく淡路町三丁目の予備館という簿記学校の二階に移り、さらに創業の翌年、すなわち明治二十年四月には、河内町の興正寺に移った。この河内町の興正寺から江戸堀に移る明治二十六年十二月までの十年間の本校は、寺院や簿記学校の軒先を借りた借家住いであった。いわば本校の寺小屋時代と申してよかろう。借家住いから一軒持ちに、そして寺子屋かられっきとした学校になったのが、ここで探訪しようとする江戸堀学舎の時代であった。

京町堀の創業地をたずねた六月上旬の同じ日の夕方、私たちは、この江戸堀学舎とを訪ねることにした。願宗寺を探すのに相当歩かされた私たちの足は梅のように堅く、その上、ゆきから自動車の排気ガスが千里山のオゾンに慣れた私たちの呼吸器管に良い影響を与えていなかったが、何しろ初夏の日足の長いころである。その上京町堀と江戸堀とは目と鼻の先だからというわけで、私たちは疲れた足をひきずって、目ざす江戸堀北通一丁目三十七番地をたずねた。

京町堀通を東へナニワ筋をよこぎり、さらに数町すすむと、肥後橋から泰助にいたる。四ツ橋筋の旧電車道に出る。そこから北に数町、市バスの停留所でいえば、江戸橋の停留所付近が江戸堀北通一丁目である。

◇…学舎新築の動機

江戸堀学舎の新築の事情は「七十年史」にくわしい。今要点をかいつまんでいうと、河内町時代のいろだが、それが当時の学校に通学したが、住友の給料が十六円。そのとぼしい中から、江戸堀の荒木書店などで古本あさりをしたという。気のきいた本屋もあったらしい。江戸堀川に沿って静かだったという面影は今どこにもない。その江戸堀川も戦後、埋立てられてあとかたもない。江戸堀校舎が再移転する原因となった市電が撤去され、おそらく校舎のあったと思われる道路敷の下を地下鉄が走る時代となったのである。暑れにくい夏の日も、すっかり暮くなっていた。私たちはこの地下鉄に乗って極田に帰った。

当時としてはモダンな洋式の江戸堀学舎

自動車の止っている付近が江戸堀学舎のあったところ

いろだが、その必要を痛感させるきっかけとなったのが、明治三十二年の徴兵令の改正であった。明治三十四年八月、本校はこの改正令にもとづく徴兵猶予の特典を文部省に申請したが、校舎の不整備を理由に、簡単にけられてしまった。この出来事によって、学舎新築計画がが然具体化したのであった。この出来事によって、学舎の新築のためには、まず先立つものが必要だ。地元弁護士として活躍していた渋川忠二郎、砂川雄峻の二人が募金専務委員に選ばれ、磯野、土居、藤田、杉本といった富豪の面々が発起人となり、一万五千四百八十九円三十五銭という、今から思えば夢のような、しかし当時としては莫大な寄金がよせられたのは、日露戦争もはじまる直前のことであったのである。

新築計画に文字通り火をつけたのが、京都の興正寺本山の炎上であった。河内町の興正寺は、真家興正寺派の別院であるが、その本山の興正寺（京都市堀河七条）が火災にあったのが、明治三十五年もくれのことであった。そこで京都の本山は、一時宗務所を大阪河内町の別院に移すことになった。対面所を借用していた本校は立退きを迫られることになった。金は思うように集まらないし、追い立てはくらう。校長加太邦憲をはじめ募金委員の涙ぐましい努力がつづけられた。当時の在阪富豪連の協力はすでに述べたが、このころ大阪随一の名門鴻池善右衛門が評議員にくわわった。また朝日新聞の村山竜平が援助の手をさしのべた。募金のメドがつき、江戸堀北通一丁目三十七番地の敷地に、槌の音が高らかに響きわたったのは明治三十六年も七月のことであった。そして、三十六年十二月二十五日、関西法律学校は、はじめて自分の所有する木の香あたらしい江戸堀学舎に移転を行なったのである。

◇…学舎の位置

江戸堀北通一丁目三十七番地というのは、もと森島脩太郎の所有地で、大阪地裁長官の官舎に隣接し、江戸堀川に沿って、二階建の空家がさびれ立っていた。かつて大阪慈恵病院の院舎であったというこの建物は、有名な職工移動のとき、紡織工を収容したこともあるという、いわくつきの建物であった。校友武田貞之助の斡旋で、右の敷地を購入した本校は、この空家をとりのぞき、当時としてはスマートな洋式木造の二階建を建築した。一階は三五坪の教室が二つと、事務室、応接室、小使室、二階は七〇坪の教室と図書室、会議室、教員室、建坪一二〇坪。敷地というのがそもそも一六四坪。今日、十万坪以上のキャンパスを有する関西大学の六十余年前の姿である。それでも、はじめて自前の校舎を得た校友・学生のようこびは筆言に尽しがたいものがあったのである。

当時の卒業生からの聞取りによると、肥後橋を南下して、江戸堀北通を西へ曲がった二軒目が、関西法律学校だったという。校舎の裏側は、さきほども述べたとおり江戸堀川の流れに面していたという。今、その位置を現地にあてはめてみると、江戸堀北通と四つ橋筋の交差する山口銀行大阪支店の向いの辺になるであろう。明治三十八年六月、江戸堀学舎は四つ橋筋の市電開設に伴う道路拡張のために、再び移転を余儀なくされたのであるから、旧敷地は、この旧電車道の道路敷の中に含まれていることになる。山口銀行は、一丁目六番地で、むかい側の住友銀行江戸堀支店が同六〇番地になるから、ここでも、昔の地番が変更されていることがわかる。要するに山口銀行支店と住友銀行支店にはさまれた道路のまん中辺のわずか一六四坪が、旧江戸堀学舎の敷地であったというわけである。

◇…江戸堀北通

江戸堀北通を西へ入ると、有名な金光教の玉水教会があり、付近は料理屋、旅館、食料品店、雑貨屋などのひしめく、賑やかな商店街である。私たちは、付近の西船場小学校に立寄って、同校の社会科教諭小野武比古氏におあいし、付近の歴史的変遷をたずねたりした。明治以前はこの辺もやはり蔵屋敷街であった。明治に入って控訴院が土佐堀に出来、司法街の色彩がつよくなった。地裁長官官舎が隣りだというから、やはり司法街といってよかったのであろう。右に述べた渋川忠二郎が弁護士の看板を上げていたのが江戸堀上通二丁目九番地であった。私たちは渋川の看物を仕立てたことがあるという千谷ヤホさん（江戸堀上通二丁目十二番地居住）という八十二才のおばあさんにも会った。この老人のいわく「渋川さんはお元気ですか?」。私たちは答えようもなく、（渋川は大正十五年、七十二才で逝）そこそこに退散した。

前々回の探訪記にしるした清成五六郎翁は、明治三十八年の入学だから、江戸堀学舎へ半年ほど通学したという。当時の学校の模様江戸堀界隈の有様など、手によるように聞かせていただいた。本校の月謝が一円五十銭、清成翁は、住友につとめながら本校に通学したが、住友の給料が十六円。そのとぼしい中から、江戸堀の荒木書店などで古本あさりをしたという。気のきいた本屋もあったらしい。江戸堀川に沿って静かだったという面影は今どこにもない。その江戸堀川も戦後、埋立てられてあとかたもない。江戸堀校舎が再移転する原因となった市電が撤去され、おそらく校舎のあったと思われる道路敷の下を地下鉄が走る時代となったのである。暑れにくい夏の日も、すっかり暮くなっていた。私たちはこの地下鉄に乗って極田に帰った。

マイペースで飲もう
アサヒスタインニー

自動車
航空機
船舶・車輌
諸内燃機
生産用・整備用・搭載用
工具界の定評品!
TONE
トネ印
（専門製造）
スパナー、ソケットレンチ、メガネレンチ……
ハブナットレンチ、バルブシートカッタ、各種単能レンチ…
スパイラルエキスパンションリーマ……
前田金属工業株式会社
取締役社長　前田軍治
本社　大阪市東成区深江東二丁目三四番地
電話　大阪（971）8051～5番
出張所　東京・札幌・福岡

見るからにスポーティ　走れば精悍!!
このクラス
最強の高出力…高性能エンジン
ダイハツ ニュー コンパーノ
ベルリーナ1000
大阪ダイハツ販売株式會社
大阪市福島区上福島南1丁目71番地
TEL 大阪（458）0031（大代表）

鋳鋼品　特殊鋼
営業品目
普通鋼鋳鋼　シェルモールド鋳鋼
低合金鋳鋼　炭素工具鋼
ステンレス鋳鋼　バネ鋼
耐熱鋳鋼　各種構造用特殊鋼
株式會社 高田製鋼所
社長　米澤弘
本社　大阪市住吉区柴谷町四一一
電（六八五）一〇三一～九（代）
工場及営業所　大和高田市曙町五丁目一一〇〇
電（〇七四五五）②六一〇一～五

随筆　短歌と俳句

芦原温泉周辺
—越前松島・東尋坊—

木山源一

北陸は温泉郷として、山中、山代、芦原、片山津と温泉のかずあるところで、付近には永平寺、東尋坊、越前松島など名勝旧蹟があります。

芦原温泉はかつての震災、火災のあと、整理され、旅館、ホテル街内の道路も広く、駅前から、すでに大きな土産物店、旅館などが並ぶようになりました。

駅前からのバスで遊覧すると、温泉街の中を通り抜け、田や畑などをあとに、山あいの緑の中を過ぐると、日本海のあおい澄みきった色が、遠くの白い雲の下からつづいてきており、思わず声を上げるような光景であります。

バス道の下は高い崖となり、真下には日本海がまともに突き当ってきており、白い波しぶきを上げて砕ります。

このあたりから、松島に因んで、越前松島といわれています。

山あひのみどりを過ぎしバス急し日本海の波ひろがりて白し

海沿ひの道高ければ除行しつつ日本海の怒濤卸ゆることし

幾重にも白き布寄すごとき波襲う日本海沿ひの崖みな荒し

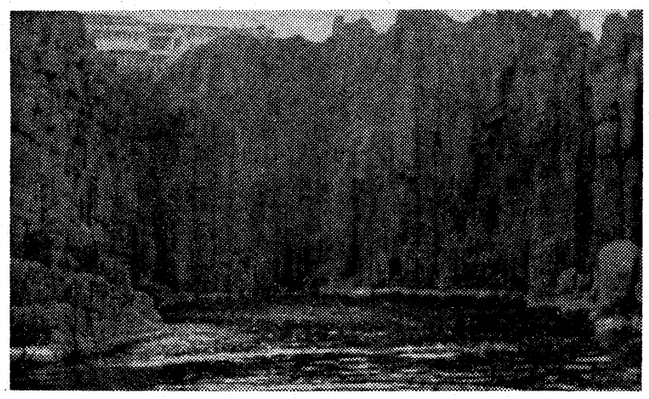
白妙の布寄すごとし幾重にも荒濤(なみ)つづき白くはるけく

秋空へとつづき日本海の波白し

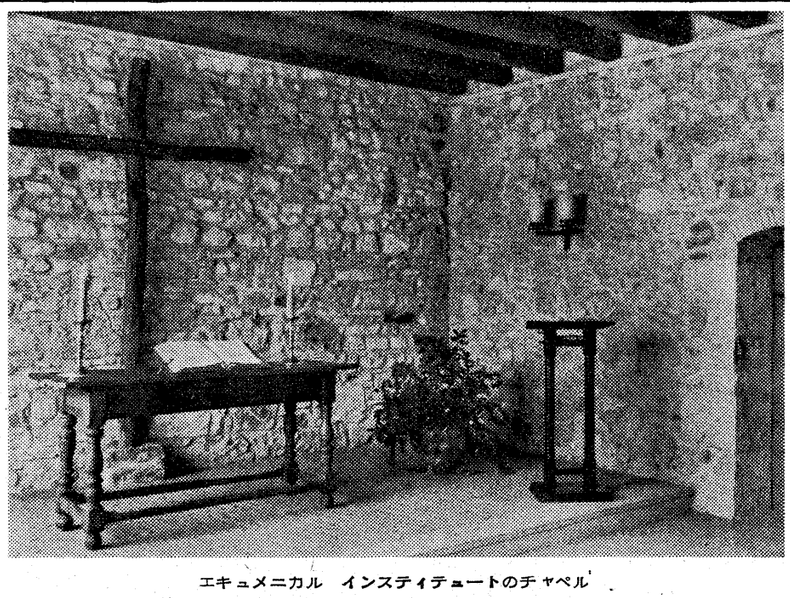
海上の雄島にかけられた赤い雄島橋の畔を横切ってまもなく、その西尾にある奇勝、東尋坊に着きます。昔、平泉寺の僧、東尋坊がこの断崖からとび下りたところということから、名付けしとか、安山岩の柱状のような海岸で、日本海に突き出た断崖群であります。

秋暮し東尋坊の崖高く

風つよき断崖の上にしばし立つ海に向へば海は碧きも



北陸の名勝—東尋坊



エキュメニカル　インスティテュートのチャペル

北村豊太郎君のスイス留学便り

レト・ロマン語の聖書
聖書コレクションへ寄贈

今春本学法学部を卒業された北村豊太郎君は、六月十八日横浜を出帆、各地を視察後スイスに留学されたが、出発前に関大図書館の聖書コレクションのために協力の申出があり、最近次の便りが関大によせられたのでご紹介する。

「お元気ですか、ソ連、ポーランド、チェコスロバキア、オーストリアを見て歩いた後、目的地のスイス、ジュネーブに参りました。直ちに二週間にわたりBosseyで行なわれたWCC（註1）のエキュメニカル・ワーク・キャンプに参加しましたが、いろいろなクリスチャンに出会うことは楽しいものでした。

秋からエキュメニカル・インスティテュートに入学いたします（写真はそこのチャペル）。

お約束しましたレト・ロマン語（註2）の聖書は懐かしい母校を想いつつ、早速ジュネーブで探し手に入りましたので船便でお送りしました。

関大キリスト教青年会の皆様によろしく。

神の祝福が皆様の上にありますようお祈りします」

☆　☆

【註1】THE WORLD COUNCIL OF CHURCHES

【註2】スイスは現在も東部に住む先住民のレチア人に、四四五年ころ北部、中部にゲルマンの一派アレマン族が加わり、西部、南部はそれぞれフランス人とイタリア人の影響下に残った。そのため、この国はスイス語というものはなく、

ドイツ語（人口の七一％）
フランス語（二一％）
イタリア語（六％）
レト・ロマン語 RHETO-ROMAN（一％）

の四語が、それぞれの地方の正式の国語として話される。宗教では新教が五八・五％、旧教が三八・七％である。

この便りにあるレト・ロマン語は、ラテン語から分派したロマンス語群に属している語で、古典ラテン語の末裔であるといわれている。本書は出版市場で入手に困難しているところ、同君の好意で留学先より今回の寄贈となったもので、本学の聖書コレクションのため、このような後援のあることはよろこばしいことである。

（関大YMCA木下註記）

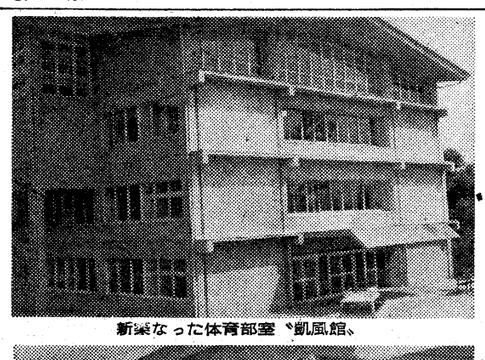
移転

（九月二十五日受付分まで）

▽安部秀雄（昭38学二商）奈良県大和郡山市今国府町三二〇寺田ポンプ鋳造内
▽阿野光子（昭41学一新）奈良県生駒郡三郷町信貴ケ丘
▽阿波野豊（昭13大法）豊中市本町六丁目一四一一二
▽赤松拓茂（昭36学一経）愛媛県伊予三島市中央五一〇一三
▽新居皓良（昭33学二商）大阪市福島区下福島三丁目十一
▽粟生政文（昭38学一経）東京都目黒区緑ケ丘二一四一五勧銀緑ケ丘アパート
▽稲岡直樹（昭42学工金）泉大津市池浦町一五琴風マンション内一七
▽今西弘（昭36学一経）吹田市千里青山台二一六一一
▽岩元利昭（昭40学二商）豊中市新千里北町三丁目四番B二三一三〇号
▽上田宗次郎（昭7二商）吹田市千里青山台二一六一一
▽馬屋原良憲（昭42学一法）宝塚市福井町二番八号
▽梅原聡一（昭34学一商）豊中市本町三丁目三七
▽大内貞靖（昭29短経）西宮市豊楽町一五番七
▽大谷一郎（昭19専一経）神戸市兵庫区山田町小部滑本二三〇
▽大比賀正実（昭31学二経）神戸市垂水区上高丸町三丁目二一〇一三
▽岡勝彦（昭29学一哲）尼崎市塚口町二一五二第二静和苑
▽奥田耕三（昭35学二商）広島市東千中一丁目三番二八号
▽奥野啓邦（昭39学二法）豊中市野畑九八一二
▽川竹嘉保（昭17専二商）吹田市千里山八五〇一〇
▽木田房利（昭36学二経）大阪市東淀川区十三東之町一丁目七一一
▽木村武治（昭38学二商）大阪市東淀川区十八条町一一八八
▽久保川顕一（昭22専一商）呉市本通六丁目一六日本火災海上保険株式会社呉営業所内
▽小泉博（昭7大法）宝塚市仁川
▽高島貞幹（昭38学一新）枚方市伊加賀緑町十番地二
▽竹腰満嗣（昭41学一経）岐阜市鶴田町三丁目七岐阜トラック運輸内
▽段藤弘（昭40学一法）大阪市阿倍野区帝塚山一丁目一四番地帝塚山コーポB棟三〇七号
▽津村春蔵（昭18専二商）島根県土田市土田町石見土田税務署内
▽十倉勝義（昭36学一法）堺市中百舌鳥町白鷺団地A二五—三〇五
▽外村新太郎（昭37学工金）堺市出島海岸通り一—九四
▽中西正充（昭28学一法）大阪市阿倍野区橋本町三番五一号
▽中本利康（昭27学二法）伊丹市野間車塚五一六—五二
▽永見一義（昭39学二法）東京都杉並区下井草三丁目一八番三号
▽西林正義（昭39学一経）大東市大字尻崎四一二番地
▽西村輝男（昭20専一営）伊丹市広畑四丁目二一
▽信谷勲（昭40学二法）大阪市旭区両国町二三一二
▽八田義彦（昭37学一商）小樽市富岡町二一九
▽平竹盛太郎（昭18専二経）半田市亀崎相生町一丁目三〇
▽福井宏（昭32学一経）広島県安芸郡府中町八幡四三〇一
▽藤本泰造（昭41学一経）兵庫県多可郡黒田庄町津万井
▽船越博（昭41学二商）広島市井口一四九九楠アパート
▽堀西勝征（昭40学二経）宝塚市鹿塩字高丸一番三五仁川公団四三—四〇六
▽本城昭彦（昭41学一経）姫路市飾磨区南細江九二七
▽本田勲（昭37学一経）柏原市平野二丁目一四—一一
▽前川義男（昭41学二商）尼崎市西難波五丁目十二番二五号日立尼崎寮
▽松岡泰彦（昭32学一法）神戸市長田区五位ノ池町二一—四五位ノ池ビル四四号
▽松村悠吉（昭36学一法）西宮市南甲子園一二一二
▽三原茂男（昭17専二法）神戸市灘区貴谷町四丁目五六〇—三五若松荘二一号
▽三宅英二（昭26専一商）吹田市泉町五丁目一—五
▽南義信（昭39学一新）八尾市山城町三番地五一二三
▽村上脩一（昭41学工電）金沢市野町二丁目六番五号
▽安浦稜夫（昭39学一法）甲府市丸の内三—四一二斎藤方
▽柳川哲夫（昭33学一商）高槻市大字上橋二一番地一〇
▽山下清三（昭26学一商）高槻市桜ケ丘北町二二一五
▽山本亮慶（昭40学一法）寝屋川市高柳九一
▽山本恵一（昭41学工管）大阪市東住吉区田辺西ノ町八一五二
▽山本修三（昭34学二商）大阪市東住吉区田辺西ノ町五一二三

体育会部室　凱風館完成

永年の懸案であった体育会部室の新築が旧弓道場跡にこの程完成し、十月二十四日に落成式のはこびとなった。写真は、新築なった体育会部室〝凱風館〟である。内容は、一階に事務室と宿直室及び会議室と部室、二・三階と部室が入り、四階は道場二室を有するものである。



新築なった体育部室〝凱風館〟

新食堂が完成
喫茶、ラウンジも拡張

学友会諸団体の代表からなる「第二学生会館建設準備委員会」と大学当局との間で交渉の進んでいた食堂及び喫茶・ラウンジの拡張と部室の増築が十月一日その一部の完成を見た。完成した部分は食堂、喫茶、ラウンジ及び生協販売部、書籍部と事務室で現在すでに使用を開始している。社会学部の千里山への移転等により今後、大学の発展にともなってさらに増設が必要になるであろうが、今度の増設により、各施設は従来の約倍になった。

新装の食堂窓口付近

関西大学を築いた人々 ⑬

雄字は久井忠雄理事長

砂川雄峻

文学部教授　薗田香融 ㊦

叩けばカッと響く

明治三十三年十二月発行の越山茂太郎著わすところの「近畿弁護士評伝」という書物がある。阪神間の弁護士九十一人を俎上にのせ、歯にきぬをきせない辛辣な人物評をこころみている。ところが砂川には、斯界の第一人者として最大級の讃辞を惜しんでいない。

まず「関西法曹界の木鐸」なりといい、「学者として、紳士として、高潔の品性、磊落の気宇、夙に世の推重するところ」と書きはじめ、かれの経歴、事件のとり扱い方などを紹介したあと、「君は恰然弁護士中の巨星たり、而して君と配して相下らざる者は桜井一久氏」あるのみと結んでいるが、その桜井一久の伝には、「砂川氏は墨を浪華に築き、君は城を神港に構え以て各々一方に雄視し、斯界の二大明星と仰がる。実に之れ双竜玉を争ふの観」と述べて、いささかオーバーな感じがしないでもない。

こういった有様で砂川はこの評伝のいたるところで引合いに出される。平田譲衛の項には、「君は砂川氏の豪華なく、林氏の学者ブルなく、大鐘氏の愛嬌を売るなく、柿崎氏の艶聞なく桜井氏の如く酒癖なく、即ち裸体的学者なり」。入江亨之助の項では「たとえば容姿アダとして薄髯を蓄へたる砂川氏が超群の才智を具へたる如く云々」。大鐘彦市の項では「近畿弁護士界、交際の妙を以て称せらるる者少なしとせず、就中草鹿、川砂、太田及び君を以て最とす、而して草鹿氏や、人に接するに其賢愚貴賤を論ぜず、砂川氏や、必ず其の己の欲する所を操び、太田氏や、特に親を実業家に結び、而して君や一種謂ふべからざる所の愛嬌を蔵へ云々」。柿崎欽吾の項では「その熱心は林氏に及ばず、その技倆は砂川氏に若かず、その人に接するは大鐘氏に過ぎず、唯その精神の潔白にして、栄辱利害の外に独立するの趣するに至っては、独り之れ君の特性にして云々」等々。

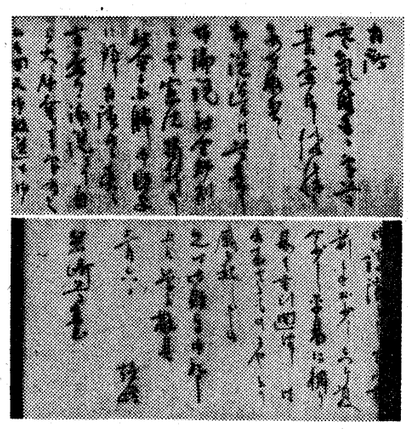
これを要するに、砂川は容姿アダとしてチョボ髯をたくわえ、ソクタカ）をもじったものであろう。対照的なこの二人の弁護士は別のところにあった。それは砂川が、ほかならぬこの大阪の土地に住んだ、生えぬきの弁護士であったという事実である。本学の創立者は、いずれも大阪控訴、地裁の現職の判検事であり、開校後数年を経ずして、すべて転勤を余儀なくされている。こうなると学校経営はいきく対比されたものであった。大正三年六月二十日付「法律世界」にいわく、「柿崎は円転玲瓏、軽佻温厚の長者なり…砂川は気魄壮岩、叩けば毫として響く」と。叩けばカッとひびくというのは、かれの名の雄峻（カまり振わず、まもなく廃校された。砂川や渋川が

堅実財政で赤字解消
名実共に経営の中心

砂川みずから校主となり、講師陣には、太田保太郎、野村鈔吉、小塚方勝、北代勝、森作太郎、小野徳太郎、渋川忠二郎らが名を連ねた。関西法律学校が、法律学士の肩書をもつ判検事を中心とし、フランス法学を講授したのにくらべて、英法学校は、東大出身の法学士や代言人を中心として、イギリス法学を教授した点、甚だ対照的である。英法学校は明治二十年九月開校されたが、あ校主となり、講師は砂川が、ほかならぬこの大阪の土地に住んだ、生えぬきの弁護士であったという事実である。本学の創立者は、いずれも大阪控訴、地裁の現職の判検事であり、開校後数年を経ずして、すべて転勤を余儀なくされている。こうなると学校経営はいきなり財政的に行き詰まりを来たしたのである。

しかし、もっと根本的な理由は、砂川が、ほかならぬこの大阪の土地に住んだ、生えぬきの弁護士であったという事実である。本学の創立者は、いずれも大阪控訴、地裁の現職の判検事であり、開校後数年を経ずして、すべて転勤を余儀なくされている。こうなると学校経営はいきなり財政的に行き詰まりを来たしたのである。

晩年の砂川は芦屋の打出に本邸をかまえ、悠々自適の生活をいとなんだ。しかし生来の鋭鋒は少しも衰えをみせなかった。最近私たちは前学長岩崎卯一博士の籠居より、砂川の書簡を見つけることができた。日付は昭和八年三月六日、砂川が肺炎で逝去するわずか一か月余り前のものだ。几帳面な岩崎は封筒の表に「此手紙は砂川先生の絶筆となった。昭和八年三月」と書き入れていた。七十四才の老人とは思えない達筆で書かれたその手紙は、岩崎が贈呈した著書入れていた。七十四才の老人とは思えない達筆で書かれたその手紙は、岩崎が贈呈した著書に対する礼状であるが、最後にチクリと痛いところをついている。「御論旨及び放送講演集に対する礼状であるが、最後にチクリと痛いところをついている。「御論旨及び放送技術は誠に結構に存じ候へども、公衆一般に呼び掛る御講演としては其前半が少し欠乏、今少し平易に解り易く言い廻しは出来ざるものにやとの感を起し申候（下略）」。砂川は最後まで叩けばカッとしてひびいた。



岩崎博士宛の砂川書簡

晩年の砂川

五十年になんなんとする砂川の関大への貢献は、数え挙げればきりがないから、すべては「七十年史」にゆずるほかない。ことに晩年は首席理事として名実ともに、関大経営の中心となった。

かれの経営方針は、一口にいえば「堅実財政」これ一本であった。昭和二年の事件ではじめて明るみに出た尨大な赤字（それは千里山進出・昇格のもたらした赤字である）を黒字にかえしかも一方では焼失した予科校舎の再建（現在の第二学舎）、天六学舎の新築などの大事業をなしとげたのだから、天晴いなものである。そしてこの方針は、かれの女婿にして最もよき理解者である寄多村桂一郎事によって継承された。砂川財政に対してはあるいは批判もあろう。しかし竹には節がなければならない。山岡総理事時代の華やかな拡張のあとには、砂川の緊縮財政が必要であった。また砂川・寄多村理事の着実な蓄積時代を前提とすることにおいてのみ、戦後の飛躍的発展が可能とされたのである。

関大と砂川

明治十六年に下阪して、たちまち圭角をあらわした砂川が、本学の創立のことに与らなかったのが、むしろ不思議なくらいである。その理由は本学の創立ほぼ時期を同じくして砂川は、大阪中の島に英法学校を興し、その方に熱中していたからである。法学協会雑誌四四号によれば、大阪英法学校の創立規則書が出ている。それによれば、関大の運営がこの砂川と柿崎の手で操縦されたことはよく人の知るところであるが、砂川と柿崎は弁護士界の双璧として、よたところは、一見きわめて女性的であるが、弁護士として技倆抜群、しかも才智煥発の人物であった。豪華で派手好みであったことは、毎朝裁判所へ二頭立ての馬車をかってのりつけたという話でもわかる。今ならさしづめ、フォードかベンツの最高級の外車を乗りまわしたことであろう。

明治の末年から大正にかけて関大の運営がこの砂川と柿崎の手で操縦されたことはよく人の知るところであるが、砂川と柿崎は弁護士界の双璧として、よが唇歯輔車、より関大の進路を誤まらなかったのである。

このように砂川は、本学の創立のことには与からなかった。しかし明治三十年、講師として迎えられるや、やがて本学経営の中心的な位置を占めるようになったのはなぜか。第一に、砂川の代言人としての声望と手腕のしからしめたところが大きい。また、明治二十七、八年頃を境にして、日本の法学界、法曹界がフランス中心から英米法中心に転換した事情は忘れてならない。

しかし、もっと根本的な理由は砂川が、ほかならぬこの大阪の土地に住んだ、生えぬきの弁護士であったという事実である。本学の創立者は、いずれも大阪控訴、地裁の現職の判検事であり、開校後数年を経ずして、すべて転勤を余儀なくされている。こうなると学校経営はいきなり財政的に行き詰まりを来たしたのである。

晩年の砂川は芦屋の打出に本邸をかまえ、悠々自適の生活をいとなんだ。しかし生来の鋭鋒は少しも衰えをみせなかった。最近私たちは前学長岩崎卯一博士の籠居より、砂川の書簡を見つけることができた。日付は昭和八年三月六日、砂川が肺炎で逝去するわずか一か月余り前のものだ。几帳面な岩崎は封筒の表に「此手紙は砂川先生の絶筆となった。昭和八年三月」と書き入れていた。七十四才の老人とは思えない達筆で書かれたその手紙は、岩崎が贈呈した著書に対する礼状であるが、最後にチクリと痛いところをついている。「御論旨及び放送技術は誠に結構に存じ候へども、公衆一般に呼び掛る御講演としては其前半が少し欠乏、今少し平易に解り易く言い廻しは出来ざるものにやとの感を起し申候（下略）」。砂川は最後まで叩けばカッとしてひびいた。

北田さん（八日市高校）に学長杯
一高弁論部主催　全関西高校弁論大会で

関西大学第一高等学校弁論部が主催する第十八回関西大学学長杯争奪全関西高等学校優勝雄弁大会は、九月二十四日（日）午前九時半から同校集会室で開かれ、滋賀県八日市高校の北田多恵子さんが学長杯を獲得した。

大会に参加した弁士は二十九名（うち十七名が女子）で、各々が特徴を生かして熱弁をふるった。審査員には、一高名誉校長・吹田市議三島律夫氏、一高教頭佐々木康雄氏ら七名で審査の結果は①学長杯「交通道徳と事故」滋賀八日市高校北田多恵子②校友会杯「差別というレッテル」大阪・東高校中村富美子③一高杯「ブランデーの笑い」和歌山・青蘭高校村山良雄④学友会杯「私の幸福感」奈良高校脇谷和秀⑥ユネスコ賞「青年の生き方」大阪・生野高校小松道子⑦努力賞「高校生活における風紀について」大阪・大阪女子短大付属高校大瀬戸裕子で大会終了後表彰された。

・天理高校尾谷みちえ⑤雄弁会杯「泣き言は言わない」和歌山、青蘭

異動

【　】は旧職

（九月二十五日受付分まで）

▽会沢邦夫（昭29学一法）青葉産業株式会社常務取締役【栗田工業株式会社プラント事業部営業部次長】名古屋市緑区鳴子町鳴子団地七二—三〇四
▽一階弘吉（昭13専二経）日本通運川口営業所長【日本通運川口営業課長】箕面市稲一〇七—一
▽本多正機（昭41学工金）旭電機化成株式会社【新日本海運株式会社】八尾市東山本町一—八五

ニッカバー　ポッカ
北新地店　北区永楽町18番地（代）344・6091
北　店　北区曽根崎中1丁目2番地（312）4787
心斎橋店　南区心斎橋筋2丁目32番地（211）4787

近畿相互銀行
本店　大阪・東区・本町二丁目

ジュピター　カーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

旅　旅行のことならお気軽に校友のツーリストへ
安心して乗れる校友のタクシー　車
よい空気！　よい温泉！
本格的デラックスプール！
水間鉄道水間終点・阪和線熊取駅よりバス・タクシーあり
関西交通株式会社・八尾交通株式会社
株式会社関西ツーリスト
■奥水間温泉■
日本観光旅館連盟会員　松泉閣
本館　大阪府貝塚市木積3160　Tel　西かつらぎ局　23
大阪案内所　天王寺ステイションビル3階　関西ツーリスト　771—3988

髪の定年延長！
発毛促進剤
カネボウシデン
<医薬部外品>
大切な髪をシデンでお守りください
毛に栄養をあたえ　発毛を促進します
（主成分スウエルチノーゲンは健保の適用を受けています）
カネボウ強力シデン　160ml 2,500円
80ml 1,500円
カネボウシデン　160ml 1,600円
80ml 1,000円
全国有名百貨店・カネボウチェーンストアにて発売中
Kanebo　カネボウ
繊維製品から化粧品まで　世界でただひとつ　総合の美をつくる　カネボウ

鑄鋼
深孔明加工能力
普通鋳鋼
特殊鋳鋼
孔径　20～70m/m
孔明長　300～1500m/m
O.C.S　株式会社大阪鑄鋼所
本社工場　大阪市都島区高倉町四ノ一　電話　堀川（921）1477・1478
神崎機械工場　尼崎市長州西通一　電話　大阪（401）0465～6
東京出張所　東京都中央区日本橋通三ノ八（斎藤ビル）電千代田区（271）8437